

第4回

横浜ゾリスステーションと

ジュニアたちの協演

ジュニア演奏家たちに
奇跡は起きるか!?



R.シューマン
交響曲第1番「春」

- シューマン チェロ協奏曲
- ブラームス 「大学祝典序曲」

2016年6月26日 日

開場13:30 開演14:00

鎌倉芸術館 小ホール

【主催】鎌倉ジュニアオーケストラ

【協力】横浜ゾリスステーション 【協賛】スミノ楽器

【後援】鎌倉市教育委員会 逗子市教育委員会 葉山町教育委員会
株式会社ジェイコム湘南 鎌倉エフエム放送株式会社



黒服は横浜ゾリスステーションメンバー、白服はジュニアたち。

ご挨拶



本日はお忙しいところ、ご来場いただきありがとうございます。鎌倉ジュニアオーケストラ(以下KJO)は32年前に「音楽の好きな子どもなら、楽器に触ったことがなくても、楽譜が読めなくても誰でも入れるオーケストラ」として鎌倉市深沢地域に誕生しました。以来、各パートのトレーナーによる指導のもと、年に数回のコンサートを重ねながら今日まで歩んできました。現在、小学3年生から高校3年生まで80名の団員が、藤沢駅近くの新堀ライブ館にて練習に励んでいます。

4年前、プロのオーケストラ「横浜ゾリステン」よりKJOの中高校生の希望者を対象に共演しないかとの話を頂きました。もちろん即座に賛成し、この機会を我々だけでなく一般のジュニアたちへも拡げては、と参加を呼びかけて始まったのがこの企画です。

曲目は、1年目がドヴォルザーク作曲の交響曲第9番「新世界より」、2年目がチャイコフスキー作曲の交響曲第4番、3年目はベートーベン作曲の「交響曲第5番「運命」、そして4回目となる今年は、シューマン作曲交響曲第1番です。どれも年齢幅の広いKJOだけでは演奏が困難な曲ですが、中高校生たちにとってはまさに成長の絶好機でもあります。今年のメイン曲が、KJOの子ども達にとって普段演奏し慣れないシューマンということもあってか、当初は出足の鈍かった子供達も、担当のオケママの熱心な呼びかけで、25名ものジュニア・ユースが参加させていただくことができました。この曲に取り組む彼らの目は、今まさに成長しつつあることを実感させられる程輝いています。

このような貴重な機会を与え、彼らを熱心に指導して下さる横浜ゾリステンの皆様には心から感謝しています。

今日の演奏はお聞き苦しい所もあるかと思いますが、子供たちなりに真剣に取り組んできた事をご報告して、ご容赦いただければ幸いです。

鎌倉ジュニアオーケストラ代表 田辺四郎



本日はご多忙の折、ご来場くださり誠にありがとうございます。横浜ゾリステンを代表し厚く御礼申し上げます。横浜ゾリステンは2009年に結成されたプロフェッショナル・オーケストラです。

同年11月にベートーヴェン「運命」でデビュー以降、すでに公演活動を15回重ね、常にアンサンブル重視の演奏活動を続けています。

こうした中、2012年12月に鎌倉ジュニアオーケストラ主催による「横浜ゾリステンとジュニアの共演」という機会を得、昨年6月にも第3回目の協演を行い、今回4回目を迎えるに至りました。来年度も引き続き開催を予定し、すっかり横浜ゾリステンの定番メニューとして定着いたしました。また、一部のジュニアの方々からも、欠かせない有意義な機会との感想をいただき、改めてこの取組が大変有意義なことを再認識しています。

ジュニアの皆様が私ども横浜ゾリステンと協演することで、持てる力を存分に発揮され、一緒に創り上げる音楽は、きっと皆様方に感動をお届けできるものと確信しています。

本日はブラームス：大学祝典序曲、シューマン：交響曲第1番「春」、をジュニアの方々と協演いたします。また横浜ゾリステンメンバーによりシューマン：チェロ協奏曲を演奏いたします。是非お楽しみください。

横浜ゾリステン事務局長 住田英二



プログラム

「大学祝典序曲」

ヨハネス・ブラームス

チェロ協奏曲

ローベルト・アレクサンダー・シューマン

～ 休憩 ☕ ～

交響曲第1番 「春」

ローベルト・アレクサンダー・シューマン

鎌倉ジュニアオーケストラ

第33回 定期演奏会

【日時】 2016年8月28日(日) 14:00 開演

【場所】 鎌倉芸術館大ホール

【演目】 アルルの女(ビゼー)より 第1、第2組曲

「コッペリア」より マズルカ ほか



指揮者・コンサートミストレス・ソリストのご紹介



小平圭子 (こひらけいこ) 指揮者

東京生まれ。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部をピアノ・指揮2専攻で卒業。これまでにピアノを秦はるひ、國谷尊之、紅林こずえ、木村徹、川村文雄、指揮を山本七雄、ファゴットを浅野高瑛、武居俊樹 各氏に師事。在学中より積極的にオーケストラ活動に取り組み、自身で結成したオーケストラによるコンサート（三鷹 " 風のホール " にて開催）など好評を博す。けこピピアノ教室主宰。今日では、絵画と音楽を掛け合わせた講習会を美術館で行うなど、独自の視点でクラシック音楽への関わり方に挑戦している。



山田健史 (やまだけんじ) ソリスト(チェロ協奏曲)

岡山市生まれ。8歳よりクラシックギターを、12歳よりチェロを始める。桐朋学園大学音楽学部演奏学科を卒業後、渡仏しリヨンにて研鑽を積む。これまでにチェロを田辺幹夫、秋津智承、北本秀樹、イヴァン・シフォロー、ヘルマー・シュティラーの各氏に師事。第14回宮崎国際音楽祭、第13回嶺南(韓国)国際現代音楽祭など国内外の音楽祭に出演。現在はソロ、室内楽、オーケストラ等で幅広く活動するほか、現代音楽にも積極的に取り組む。モンターニュ弦楽四重奏団メンバー。



田島華乃 (たじまかの) コンサートミストレス

1986年2月生まれ。3歳半よりピアノ、4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。ザルツブルク音楽祭で、E・シュミダークラス受講。ファイナルコンサートに出演。別府アルゲリッチ音楽祭に出演。

第44回小野アンナ記念会に出演。全日本芸術音楽コンクール第二位。室内楽や都内オーケストラで演奏活動中。音の家otonoya代表 (<http://otonoya.jimdo.com/>)。



武石侑子 (たけいしゆうこ) コンサートミストレス

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを江口有香、小林健次の各氏に師事。桐朋学園大学オーケストラとしてヴィオラスペース、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、別府アルゲリッチ音楽祭などに参加。桐朋オーケストラ・アカデミー修了。オーケストラや室内楽を中心に演奏活動を展開。様々なジャンルの音楽アンサンブルに精力的に取り組む傍ら、アマチュアオーケストラ、後進の指導にも力を入れている。

横浜ゾリステン

首都圏在住の音楽家により2009年結成された、指揮者をおかない室内オーケストラ。約40名の卓越した演奏技術と高度なアンサンブルによって、新たなクラシック音楽の地平を目指す。ゾリステンとはSolist(ソリスト)の複数形で、自主的・独創的な音楽家の集まりのこと。



プログラム・ノート

大学祝典序曲

1 1879年にドイツ（現ポーランド）のブレスラウ大学からブラームスに名誉博士号授与の申し出がありました。そのお礼に作曲されたのがこの《大学祝典序曲》です。

この少し前、敬愛するシューマン夫妻の息子で、ブラームスが名付け親となっていたかわいがっていたフェーリクスが病気で亡くなり、翌年にはブラームスの長年の友人である画家のフォイアーバッハが亡くなったことも知らされます。大きな名声の裏側で大きな悲しみに包まれていたのです。また、ボンでシューマンの記念碑の除幕式があり、シューマンの妻クララと出席しました。シューマンがライン川へ投身自殺を計り、精神病院へ収容された後に死を迎えた悲劇を思い起こすとともに、シューマンによって世に羽ばたいた自分の存在を確認し彼に対する感謝の念を抱いたことでしょう。このような心情も影響してか、ブラームスは《大学祝典序曲》の作曲中に《悲劇的序曲》という曲の作曲も始めます。1880年の5月頃から《大学祝典序曲》の作曲を始め、9月には《悲劇的序曲》とセットで4手ピアノ用の楽譜が完成しており、これらを9月13日のクララ・シューマンの誕生日にプレゼントして、2人で演奏されました。《悲劇的序曲》という曲も是非、聴いてみてください。

チェロ協奏曲

ローベルト・アレクサンダー・シューマンは、ドイツ・ロマン派を代表する作曲家の一人です。

シューマンは長い間病気に悩まされていました。病気の回復には気候条件が変わったところが良いと考えた彼は、ドレスデンへの移住を決意します。このころシューマンは音楽界での定職に就きたいという希望を持つようになり、1847年には空席になっていたウィーン音楽院院長職への就任を打診し、メンデルスゾーンの死後はライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者への就任についても探りを入れていましたが、これらはいずれも実現しませんでした。1849年の秋、ヒラーという人からデュッセルドルフの音楽監督のポストをシューマンに譲りたいという手紙を受け取ります。シューマンは受諾し、1850年9月、家族とともにデュッセルドルフに向かって旅立ちました。そのデュッセルドルフ時代に作曲されたのがこの《チェロ協奏曲》です。

デュッセルドルフでシューマン夫妻は歓迎を受けます。この地でシューマンは管弦楽団と合唱団の指揮を担当し、彼が指揮した最初のコンサートは成功を収めました。創作力も旺盛で、この時期に相次いで書かれた《チェロ協奏曲（作品129）》と《交響曲第3番「ライン」（作品97）》は、シューマンのデュッセルドルフ時代を代表する作品となりました。

また彼は1853年にヨハネス・ブラームスと出会い、「新しい道」と題する論文で若き天才として紹介しますが、翌1854年にライン川に投身自殺を図ります。救助されたシューマンはボン近郊のエンデニヒの療養所に収容され、2年後の1856年に46歳で亡くなりました。

交響曲第1番「春」（作品38）

1 841年に完成した、この交響曲はシューマンの「ライプツィヒ時代」を代表する作品であり、この曲の成功はシューマンの創作活動においてピアノ曲と歌曲から交響曲作家への脱皮という画期をなすものとなりました。

アドルフ・ベトガーという人の詩にヒントを得て書かれたといわれ、シューマンは当初のこの交響曲を「春の交響曲（Frühlingsinfonie）」と呼び初演時は各楽章にそれぞれ標題を付けていましたが、後に取り去りました。

第1楽章 - 春の始まり

第2楽章 - タベ

第3楽章 - 楽しい遊び

第4楽章 - たけなわの春

シューマンがメンデルスゾーンに宛てた手紙には、第1楽章について、冒頭のトランペットは高いところから呼び起こすように響き、すべてが緑色を帯びてきて蝶々が飛ぶ様子も暗示される。主部のアレグロではすべてが春めいてくることを示すともいえるが、これらは作品完成後に浮かんだイメージだとも述べています。

横浜ゾリステンメンバーに聞きました！ ジュニアを指導して感じたことは？



ヴァイオリン指導
武石 侑子

一人での演奏では得られない、
オーケストラの大きな音楽を
全身で感じてほしい。

生徒一人一人の反応や質問への受け答え
など、レッスン内での対話は限られます。だから
こそ私は、曲ごとに自分が何を伝えたいか、個

人レッスンのときより明確に示しています。限られた回数、限られた時間
の中でどう音楽に取り組むか。私もしっかりと曲の練習と勉強をしなければ
いけません。でもそのおかげで、より曲と真剣に向き合い、ヴァイオリン
とも改めて向き合えるので、とても価値ある時間を過ごしています。
ここにきて彼らの目つきが変わってきました。練習を重ねていくうちに難
しきや曲への理解が生まれ、真剣な表情になっています。また、彼らの
「知りたい！」という気持ちは「やってみよう」「頑張ろう」へと変化するの
で、音色の変化にはいつも驚かされます。この企画では、一人での演奏
では感じ得ない、オーケストラの大きな音楽を全身で感じてもらいた
いですね。また、みんなで音楽を奏でることの楽しさを感じてほしい。感じ
方は人それぞれです。言葉にできなくてもいいので、心が震える瞬間、
いいなあ!と思う瞬間を覚えていてほしいです。



オーボエ指導
横野 ゆづみ

成長するジュニアを見るのが
眩しく、頼もしい。
ともに戦う戦友として演奏しよう

他のパートが複数でレッスンを受けるなか、
オーボエはお互い初参加で1対1の個人レ
ッスンとなりました。周囲からは楽しそうなアン

サンブルが聴こえてくるので、Oちゃんは心細かったかもしれません。オー
ボエはソロが多い楽器なので、この経験で少しでもメンタルが養えてい
れば嬉しいです。印象的だったのは、Oちゃんがレッスン期間中に中学
生になり、遅くなったこと。初対面の時はあどけなかった彼女が、中学
入学後すぐ、午前中の部活を終えて急いで練習に駆け付けたことがあ
りました。お弁当を食べる時間がとれなかったようなので、「先に食べて
いいよ」というと、Oちゃんは強い眼差しで、「大丈夫です！お願いします
！」と言い、すぐに練習をスタート。みるみる成長する彼女の姿がとて
も眩しかったです。この企画では、レッスンだけでなく本番も隣で演奏
するので、指導者と生徒という関係を越えて、一緒に戦う戦友のような
気分です(笑)。言葉では伝えきれない、ステージで演奏する時ならでは
の気持ちよさや達成感を共有できたら嬉しいです。



チェロ指導
関口 将史

引き出しを全部開けて
音を出し合う中で、
いい変化があればいい。

「レッスンをする」という感覚が私の中にはほ
とんどありません。私の持っている引き出しを全
部開けて、実際に音を出すことで、何かがよか

れと思われる方向に変化していたらいいな、といつも思っています。一回
の練習の中で、一人一人が「今日の練習に来てよかった」と、何でもいい
から1つ思えてこそ、私達に価値があるわけです。それが私たちの醍醐
味であり、同時に困難なこともかもしれません。この企画を通して彼らに伝
えたいのは、楽器と自分の距離感、アンサンブルを通じた人や世の中と
の関わり方、この後の人生の選択肢に幅ができること、その可能性です
ね。そんなことを願っています。

ある練習の最後に「楽譜をコピーしてきてね。コピーしたら譜面は返し
てね」と何気なく言ったところ、どうやら「コピー」の意味を取り違えたよう
で。数週間後、悲痛な顔で譜面を返しながら「まだ覚えられていません」
と言われて驚きました。覚えなくてよかったんだよ。パラッと紙にコピーし
てくればよかったんです。ごめんね。本番、頑張りましょう。



クラリネット指導
木原 亜士

うれしいのは、個性を
「色」として表現できる場で
彼らに出会えたこと。

複数人をレッスンする場合、うっかり経験の
長い子に合わせてしまうと、経験の少ない子
にとっては理不尽な要求になりがちです。それ

だけはしないよう、時間がかかろうが丁寧に説明しています。そのせい
か、最近では「こういう場合はこうする」という基礎的な知識が身につ
いてきたようです。今回のこの1曲ができるようになれば良いわけではな
く、「今後取り組む別の曲にも活かせる知識と経験を」と考えレッスンし
ています。アンサンブルは「主張・気遣い・調和」など、社会生活そのも
の。音楽活動以外にも必ず役に立つでしょう。

この企画の醍醐味は、本番の舞台で思いがけず素晴らしい瞬間が生
まれること。「地道な練習の積み重ねは何のためか？」を伝えるのは難
しいけれど、舞台上で、また本番が終わったときに感じてほしいことを
念頭にレッスンしています。練習中の何気ない会話も楽しく、きちんと彼
らなりの価値観があり、若いなりに「一個人」だと感じます。個性を「色」
として表現に繋がる場所で、彼らに出会えて本当に嬉しいです。

ジュニア・ユース参加者に 6つの質問をぶつけてみました!

質問 内容

- ① 今まで演奏した中で一番好きな曲は?
- ② (前回参加者は) 前回の演奏会の感想と今回への思いや目標を聞かせてください。
(初参加者は) どうしてゾリステン企画に参加しようと思ったのですか?
- ③ ゾリステンの先生方の指導はいかがですか?
- ④ ぼんやりとでもいいから、未来に思い描いていることを教えてください。
- ⑤ あなたにとって、オーケストラの魅力は何ですか?
- ⑥ 今日の意気込みをひと言!

チェロ

永田歌歩 (高1) 楽器歴 7年

- ① チャイコフスキー交響曲第4番
- ② 前回→前々回の曲目よりテクニク的には難易度が下がったので、よりアンサンブルを意識するようになり、プロの方に囲まれて弾くことで感覚的に学ぶことが多かったです。
今回→ベートーヴェンにはない細かい休符や符点など、一人で弾いていても何が正しいのかわからないことが多いので、自分の音はもちろん、周りの音にも耳を傾けながらひとつの音楽をつくりたいです。
- ③ ただひたすら楽譜と向き合うのではなく、曲の中で足りないと感じたテクニックを集中的に見て下さるので(例えば「和声感が足りない」→先生が作った和音に乗せてアドリブで弾いてみる、など)、仲間が指導を受けている様子を見ているだけでもとても勉強になります。
- ④ プロの音楽家になって、いろいろなジャンルの音楽に羽を広げて行きたいです。
- ⑤ 音楽の楽しさを仲間と共有できる、なくてはならない存在です。
- ⑥ 2か月の練習で学んだことを活かしながら、楽しんで演奏したいです!

松前芽依 (中2) 楽器歴 5年

- ① 魔弾の射手
- ② 前は本番で少し間違えたところがあったので、今回は完璧を目指して頑張りたいです。
- ③ 普段は出来ない貴重な体験が出来て、とても楽しいです。
- ④ まだ分からないけど、大人になってもチェロを弾いていられればと思います。
- ⑤ 一番自分が落ち着ける、大切な場所。
- ⑥ 今まで練習してきたものを全て出して、演奏を楽しみながら頑張ります!

岩佐愛芽 (中1) 楽器歴 4年

- ① 「サムソンとデリラ」よりバッカナール
- ② この企画を知った時から、ずっとやりたくてやりたくて、中学生になるのを待っていました。
- ③ チェロの先生の指導は特に面白く、時間が経つのが本当に早く感じます。
- ④ オーケストラは休むことなく高校三年生まで続けたいです。
- ⑤ 音楽を楽しむ所。オーケストラで過ごす時間は自分にとってとても大切なものになっています。
- ⑥ まだ意気込めません!

オーボエ

鈴木音波 (中1) 楽器歴 2年

- ① ディズニーファンティレュージョン
- ② 姉が参加するというので興味が出てきたところ、「興味のある人は参加してみてください」といわれたので、参加してみようと思いました。
- ③ とても優しく丁寧に教えてくださり、まだ、知らない事をたくさん知ることができました。
- ④ 将来の仕事に、なにかしらオーボエを生かしたらいいなと思います。
- ⑤ 全然知らない人と一体になって、音楽の幅が一気に広がり、一人で演奏するより、楽しさが倍増するところです。
- ⑥ がんばります!



ジュニア・ユース参加者に 6つの質問をぶつけてみました!

フルート

高田萌里 (大4) 楽器歴 9年

- ① だったん人の踊り
- ② KJOを卒団以来、演奏会に出ることはなかったのですが、昨年10月に久しぶりに演奏会に出る機会があり、すごく楽しくて、学生で参加できる間にまた演奏会に出たい!と思ったから。
- ③ KJO時代と同じく長崎先生に教えて頂いたので、懐かしく、とても楽しいレッスンでした。高校生の頃に比べてもっと音楽的に深く教わることができ、充実した時間となりました。
- ④ 大学で音楽とは違う道に進みましたが、自分の生活から音楽は切っても切り離せないと思うので、これからも趣味として音楽に関わり続けたいと思っています。
- ⑤ 音楽の難しさと、それを乗り越えた時の楽しさや感動を教えてくれたものです。
- ⑥ 久しぶりの演奏会でプロの方々の中に入れて頂くのはとても緊張しますが、今までの練習の成果を存分に発揮できるよう、楽しんで演奏します!



高橋愛美 (大2) 楽器歴 6年半

- ① ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」
- ② 前回も今までも音楽が好きだなと思えるとても充実した時間を過ごせました。前回の本番では上手いかず悔しい思いをしたので、今回はそのリベンジも兼ねて頑張ります。
- ③ 一人一人を気にかけてくださり、とても丁寧な指導して下さいます。KJOにいた頃からお世話になっていますが、学ぶことが多く楽しいレッスンです。
- ④ 音楽を通じてたくさんの人と繋がり、ともに楽しめること
- ⑤ たくさんの人と気持ちを合わせ、ともに音楽を作り上げていく、一人では絶対にできない音楽と感動があるところ。
- ⑥ 私の思い描く音楽を、表現を伝えられるよう、悔いのないよう頑張ります。

松崎健一郎 (高1) 楽器歴 6年半

- ① ブラームスの交響曲第1番
- ② 以前にゾリステンの合奏リハーサルの見学で迫力のある演奏を聴いて、自分も高い目標を持って練習をしたいと思った。
- ③ KJOの練習より、高度な要求があるという点では大変ですが、難しい曲をわかりやすく教えてくださるので、楽しいです。
- ④ フルーツは大人になっても続けたい。音響の研究にも興味があります。
- ⑤ 学校の部活とは違い、違う学校や学年、広い世代の人との交流があり、色々な刺激が受けられる場所。
- ⑥ 初出演頑張ります!!!!!!

馬島啓 (高2) 楽器歴 7年

- ① チャイコフスキー交響曲第4番
- ② 毎回練習はきつかったりもしました。とくに合奏では、なかなか合わせることができなったりしてとても焦りました。しかし、それをこえて演奏したあとの達成感はとても大きいものでした!今回もその達成感が得られるようにがんばりたいです!
- ③ とてもわかりやすく優しく教えてもらえて楽しいです。
- ④ 楽器は部活などをやめても続けていきたいと思います!
- ⑤ 一人一人の演奏が綺麗に混ざり合っている。オケの人全員で1つの曲を完成させられる。
- ⑥ 今年もがんばります!ぜひ打楽器にも注目をお願いします!



パーカッション

質問 内容

- ① 今まで演奏した中で一番好きな曲は？
- ② (前回参加者は) 前回の演奏会の感想と今回への思いや目標を聞かせてください。
(初参加者は) どうしてゾリステン企画に参加しようと思ったのですか？
- ③ ゾリステンの先生方の指導はいかがですか？
- ④ ぼんやりとでもいいから、未来に思い描いていることを教えてください。
- ⑤ あなたにとって、オーケストラの魅力は何ですか？
- ⑥ 今日の意気込みをひと言！

クラリネット

大城奈七子(高1) 楽器歴 3年

- ① チャイコフスキー交響曲第5番です。部活で中二の時に吹きました。初めてオーケストラの一員として舞台上で演奏した曲で、思い入れがあります。
- ② 今回が初めてなのですが、参加しようと思った理由は単純でオーケストラとクラシックが好きだからです。
- ③ 面白いです。ためになることが沢山あります。
- ④ なかなかまだ具体的には想像できないのですが、オーケストラは続けていきたいです。
- ⑤ 大好きでそして大切なものです。人生です！
- ⑥ 演奏がんばるぞ～！

丸山凛子(中2) 楽器歴 3年半

- ① ショスタコーヴィチ交響曲第5番「革命」
- ② 私は前回もこの横浜ゾリステンとジュニアの協演に参加しました。パート練習も合奏もKJOや学校の吹奏楽部で聴く音と全然違ったのが印象に残っています。この協演でプロの先生方の技を全て吸収していきたいと思い、今年も参加しました。
- ③ とっても面白いです。休憩時間など、笑いが絶えません。この前はドイツについて先生と語りました。
- ④ 大人になってもクラリネットを吹いていたいと思います。
- ⑤ 大好きなところ。
- ⑥ 一生懸命演奏をします。

谷優太(中1) 楽器歴 2年

- ① モルダウ
- ② プロの方と演奏ができ、いい機会と思ったので。
- ③ わかりやすく、とても納得できる。
- ④ ゾリステンのコンサートを成功させる。
- ⑤ やりがいやワクワクを感じられる場所。
- ⑥ 皆で協力していい音楽を作ろう！



井澤滉一(大2) 楽器歴 8年

- ① ベートーヴェン交響曲第6番「田園」
- ② 前回のベートーヴェンの運命はとても有名で、知っている部分が多かったのですが、今回のブラームスとシューマンについては何も知らない真っ白な状態からのスタートで、曲を頭に入れることや譜読みが大変でした。特に、シューマンの作品には初めて触れたのですが、最初は取っ付きにくく、苦労しました。
でも聴いていくうちに素敵だなと思う部分を発見することができて、今では魅力的な作品のうちの一つです。
- ③ 学校の授業と練習がかぶってしまい、あまり練習に出れなかったのですが、大出先生がその分を他の日に補講して下さい、感謝しています。
- ④ ずっとホルンを吹いていきたいです。
- ⑤ 生活の中心の一つです。
- ⑥ シューマンは「ホルンはオーケストラの魂だ」と言っていたようです。今日の演奏会ではゾリステンの魂になれるよう頑張ります。

ホルン



ジュニア・ユース参加者に 6つの質問をぶつけてみました!

ヴァイオリン

刀根菜々香 (高2) 楽器歴 13年

- ① 特になし
- ② 今回で2回目で慣れてきたので、今回は緊張せずちゃんと弾けるようがんばります!
- ③ 一つずつわかりやすく優しく教えて頂いてとても嬉しいです。
- ④ 楽器はずっと続けていけたらいいなと思います。
- ⑤ 自分だけでは作れない新しい音楽を教えてくれる場。
- ⑥ がんばります!

南川日佳理 (中2) 楽器歴 4年9か月

- ① 「天国と地獄」序曲
- ② 前回のヴァイオリンパートは中学生が私一人だったので、少し不安もあり緊張しましたが、今回は同年代のメンバーがたくさんいるので、楽しみながら本番に向けて一生懸命頑張りたいです。
- ③ 細かいところまで丁寧に教えてくださるので、とてもわかりやすいです。
- ④ どんな形でも音楽を続けていきたいです。
- ⑤ 学校と同じくらい大切な場所
- ⑥ 今まで頑張ってきた練習の成果を発揮したいです!

鈴木風香 (中3) 楽器歴 3年

- ① 「ウィリアム・テル」序曲…チェロのソロがすごくかっこよくて、ソワソワしたところから、穏やかなになって、体育祭などでよく聴くメロディーになり…と移り変わるところが好きです。
- ② なし。
- ③ 横ゾリの先生方は、細かい所まで、しっかり教えてくださいました。なので、難しかったけれど、楽しく練習できました。
- ④ ヴァイオリンはやめず、趣味として続けていきたいと思っています。
- ⑤ なし。
- ⑥ 初めてですが、プロの方とできるチャンスはなかなかないと思うので、一生懸命頑張るので聴いてください。

伊勢巧 (高2) 楽器歴 5年

- ① チャイコフスキー交響曲第4番
- ② プロの方々と一緒に同じ曲を演奏することができ、いつもの自分以上の演奏ができた気がしました。その曲のできた背景や雰囲気などまで考えた演奏をすることができ、曲を最大限に楽しめました。今回も楽しんで弾きたいです。
- ③ たとえ話などが面白く、とてもわかりやすいです。
- ④ 仕事をしながら趣味としてヴァイオリンを弾いたり、アマチュアのオーケストラに入ったりしたいです。
- ⑤ 可能性に限りのない楽器
- ⑥ 先生方の技を盗みつつ、楽しんで弾きます。

田名部亜水 (中2) 楽器歴 5年

- ① こうもり序曲
- ② プロの方々に指導を受けたかったのと、一緒に演奏したかったから。
- ③ ひとつひとつ丁寧に教えてくださり、とてもわかりやすいです。
- ④ 幸せな人になる
- ⑤ ひとりでは出来ない音が出来上がる楽しい場所
- ⑥ ヴァイオリンのメロディーはとても素敵で気に入っています。色々な事をイメージしてもらえるような演奏がしたいです。

大西ひまり (中2) 楽器歴 4年

- ① 「モルダウ」
- ② 昨年の「横浜ソリストとジュニアの協演」を見て憧れ、そのときからこの企画に参加したいと思いました。
- ③ とても充実していて私にとって楽しい時間です。
- ④ みんなで仲良く楽しく世界平和。
- ⑤ 私にとってオーケストラとは、仲間との繋がりであると思います。
- ⑥ 思い出に残る演奏をしたいと思います!そして、後悔のない演奏をしたいです!精一杯頑張ります!!

高橋実来 (高2) 楽器歴 8年

- ① チャイコフスキー「1812年」
- ② 前回は素晴らしい演奏が出来ましたが、緊張しすぎて指が動かかなかったので、今回はほどよい緊張感でいい演奏ができるように頑張りたいです!!
- ③ 体を使って表現して下さったり、面白い例えを使って音の出し方を教えて下さったりして、それがすごくわかりやすいです!!
- ④ 留学したいです。
- ⑤ みんなで一つの音楽を作ることがすごく楽しいし、年齢関係なく仲良くなれるところがいいなと思います。
- ⑥ いい演奏ができるように頑張ります!!

田中晴子 (大1) 楽器歴 11年

- ① チャイコフスキー交響曲第4番
- ② 私は一般応募からの参加ですが、前回の演奏会を見させて頂きとても楽しそうだなあと考えていて丁度お友達からお誘いももらったので参加しました。
- ③ オケでの技術を教えて頂けるのでとても勉強になることが多いです。
- ④ 子供たちが音楽を身近なものに思えるような指導者になりたいです。
- ⑤ 成長させてくれる場であり、大好きな場所です!
- ⑥ プロの方の隣で演奏できる貴重な機会なので楽しみながら一生懸命頑張りたいと思います!

質問 内容

- ① 今まで演奏した中で一番好きな曲は？
- ② (前回参加者は) 前回の演奏会の感想と今回への思いや目標を聞かせてください。
(初参加者は) どうしてゾリステン企画に参加しようと思ったのですか？
- ③ ゾリステンの先生方の指導はいかがですか？
- ④ ぼんやりとでもいいから、未来に思い描いていることを教えてください。
- ⑤ あなたにとって、オーケストラの魅力は何ですか？
- ⑥ 今日の意気込みをひと言！

樋渡真由 (大1) 楽器歴 14年

- ① チャイコフスキー交響曲第4番
- ② この企画は、演奏する時に隣でプロの方々が一緒に弾いて下さいます。そのおかげでいつも不思議と力が湧き、楽しく演奏出来ています。今回は引っ張って頂くのではなく、自分の演奏も出来たらいいなと思います。
- ③ プロの視点から、でもジュニアでも分かるようにいつも丁寧に教えて下さいます。
- ④ 今年の春から音楽大学に通っているので沢山の経験を積んで行きたいと思っています。そして、音楽を通して人を笑顔に出来れば幸せです。
- ⑤ 多くの人と音楽を通じて1つになれるところ。
- ⑥ プロの方々との共演に感謝しながら楽しんで演奏します。



高橋康王 (大1) 楽器歴 12年

- ① チャイコフスキー交響曲第4番
- ② 前回演奏させていただいたのはベートーヴェンの交響曲第5番。言わずと知れた名曲を弾くことのできる嬉しさの反面、とてもプレッシャーのかかるものでした。今回も前回に劣らない大曲なので、毎回の練習から出来るだけ多くのことを吸収して、本番に臨みたいと思います。
- ③ 本当に素晴らしい演奏家の方々ですが、ユーモアがあって面白い先生ばかりなので、とてもアットホームな雰囲気の中で、楽しみながら参加出来ています。
- ④ この企画では、音楽を心から楽しむことができるだけでなく、様々な人との繋がりや、集団として行動する上での考え方など、演奏以外にも多くの学びがあります。そういった貴重な経験を自分の将来に活かしていきたいです。
- ⑤ 「弾く」ことだけではなく、「人と合わせる」というソロとはまた違った音楽との向き合い方が出来る場所。
- ⑥ 皆さんにお楽しみいただけるように、まずは自分自身がこのコンサートの一瞬一瞬を楽しみたいと思います。

政田瑞穂 (中2) 楽器歴 5年

- ① いっぱいすぎてわかりません！
- ② 去年の演奏を聞いて、自分も弾いてみたいと思ったからです
- ③ とても丁寧に面白いです！
- ④ ヴァイオリンは、ずっと続けていきたいです！
- ⑤ いろんな音とか思いとかが集まっている場所！
- ⑥ 練習の成果を発揮できるようにがんばります！！

トランペット

三山千尋 (高2) 楽器歴 4年

- ① 民衆を導く自由の女神
- ② 音楽を通してたくさんの人と繋がりがかったから。
- ③ わかりやすく、とてもためになりました。
- ④ お客さんを感動させられるような演奏をしたい。
- ⑤ 感動したり達成感を得られる場。
- ⑥ 精一杯頑張ります！



神農大喜 (大1) 楽器歴 6年

- ① Fantasia for seven trumpets
- ② ゾリステンの先生からお誘いを受けたから。
- ③ わかりやすくてやりやすいです!!!
- ④ トランペットのプロプレイヤーでソリストとして活動していきたい!!!
- ⑤ 今回のオーケストラは初めてでまだよくわかりませんが、古い音楽を味わうのにとてもいいものだと思います。
- ⑥ 上手く演奏すると同時に楽しんでいきたいです!!! 今日来てくださったお客様方、ありがとうございます!!!



～ 演奏会参加メンバー ～

ジュニア・ユース

ヴァイオリン

政田瑞穂 鈴木風香 樋渡真由
田名部亜水 高橋実来 田中晴子
南川日佳理 伊勢巧 高橋康王
大西ひまり 刀根菜々香

チェロ

岩佐 愛芽
松前芽依
永田歌歩

フルート

松崎健一郎
高橋愛美
高田萌里

クラリネット

谷優太
丸山凜子
大城奈七子

トランペット

三山 千尋
神農大喜

ホルン

井澤滉一

オーボエ

鈴木音波

パーカッション

馬島啓

横浜ゾリステン

ヴァイオリン

田島華乃
武石侑子
松谷萌江
渡邊友季子
横山琴子

ヴィオラ

安藤美佳
秀岡悠汰
本田佳奈
三田悠

チェロ

関口将史
山田健史
和田理
渡邊ゆかり

コントラバス

早川珠実
宮田周介

トランペット

金城和美
原育海
秋宗章太

ホルン

大出佳子
花房可奈
越取浩一
大平紹美

トロンボーン

覚張俊介
竹内優彦
飯田智彦

チューバ

平野貴大

フルート

長崎亜星
小津まゆみ

クラリネット

木原亜土
安藤絵理

ファゴット

坪谷陸
玉津みずき
深山智哉

オーボエ

横野いづみ
小倉悠樹

ティンパニ

池田拓人

パーカッション

久保創
三神絵里子

🎵 鎌倉ジュニアオーケストラは、
いつでも団員を募集しています!

鎌倉ジュニアオーケストラは、小学校3年生から高校3年生までの80名の団員で楽しく活動しています。音楽が好きなら、楽器に触った経験がなくても、楽譜が読めなくても、トレーナーの先生方が1から教えてくれるので大丈夫! 現在、特にコントラバス、ファゴット、ホルン、トロンボーン of 団員を大募集中!! 興味のある方は、ぜひ一度、見学に来て下さいね♪

見学のご予約・お問い合わせは
鎌倉ジュニアオーケストラ事務局 (TEL 080-5512-6137) まで!

